

ご 挨拶

(独)科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業

CREST 水循環研究領域

研究総括 虫 明 功 臣

水は、一部の化石水を除き、時間的・空間的に偏在かつ変動しながら絶えず循環しています。その循環の仕方は、自然現象として変動すると同時に、人間活動によって変化するのが重要な点であります。我が国では、第2次大戦後の急激な人口増加と経済発展により様々な水問題が発生し、現在では危機的な状況は克服したものの、未だ水環境汚染や水災害への脆弱性など解決すべき多くの課題があります。いっぽう、世界に眼を向ければ、20世紀後半からの爆発的な人口増加と人間活動の拡大は21世紀前半も継続し、水問題が拡大・深刻化することが懸念されています。

国は、“世界的な広がりをもつ水問題は、国家間の紛争を引き起こす要因となる可能性を秘めており、上水の供給や食糧生産などのための安定した水資源の確保は、我が国を含め、世界の安定と福祉の向上に資する重要な課題である”という認識の上に、平成13年度に戦略目標「水の循環予測及び利用システムの構築」を設定し、これを受けて、この研究領域「水の循環系モデリングと利用システム」が科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業（CREST）として発足しました。

水問題に対する様々な懸念を科学的に解明する“水循環系に関するデータの集積・解析とモデリング”と共に、問題解決に向けて水循環系と人間との好ましい関係を築く“利用システムの構築”を目標に17課題の研究が進展しました。このCREST水循環領域の研究も発足から7年目を迎え本年度末をもって全て終了となります。この度の第5回領域シンポジウムでは、平成15年度にスタートした5研究課題につき口頭報告並びにポスター報告を予定しています。皆様方の本シンポジウムへのご参加をお待ちしています。

最後に、長期にわたって国及び関係各位から力強いご支援を受けて、それぞれの研究チームが、そして水循環研究領域全体として、国内はもとより世界に発信できる優れた成果を挙げる事が出来ました。心からお礼を申し上げます。